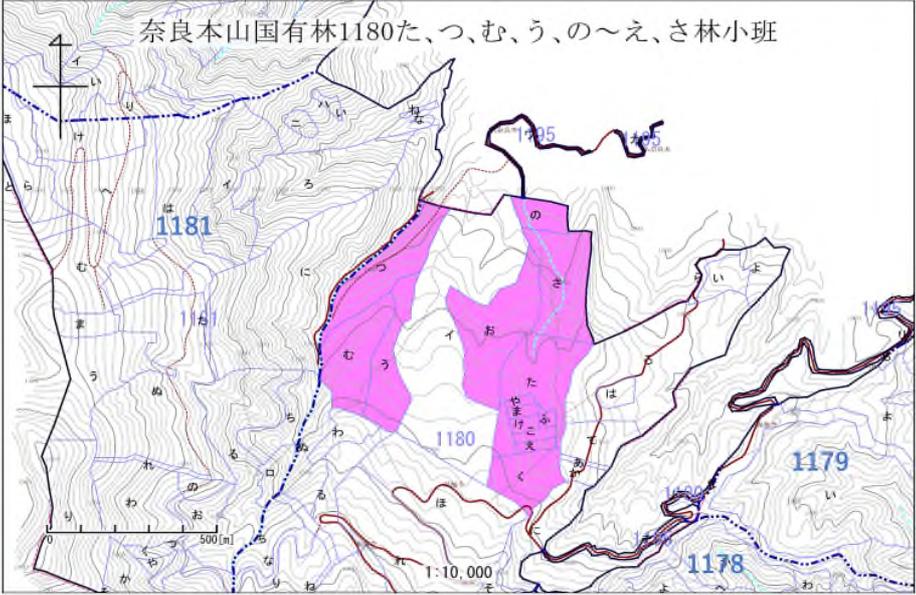


奈良本山ヒノキ人工林天然更新実験林(試験地)

1.設定年	1979年(昭和54年)
2.設定目的	人工林の天然更新及び比較として、小面積伐採を人工造林し、大径材生産の施業実験を行う。
3.森林管理署	東信森林管理署
4.所在地	長野県小県郡青木村 奈良本山国有林1180た、つ、む、う、の～え、さ林小班
5.面積	36.38ha
6.樹種	ヒノキ
7.施業概要等	<p>漸伐作業- 林冠疎開(木材生産)程度を冒して、更新成果を比較する。また、稚樹育成状態に応じて伐採の程度を変える。</p> <p>帯状皆伐- 帯状間伐により、前生稚樹ノ育成をはかり、更に下種更新を期待する。</p> <p>小面積伐採- 人工造林天然更新稚樹の生長と比較するため、稚樹の少ない林分で小面積皆伐を行い、ヒノキを植え付ける。</p>
8.位置図等	 <p>奈良本山国有林1180た、つ、む、う、の～え、さ林小班</p>
9.その他	